

平成 19 年 11 月 29 日

関係各位

東燃ゼネラル石油株式会社
代表取締役会長兼社長
ディー・ジー・ワスコム
お問合せ先：
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
TEL: 03-6713-4400

エクソンモービル・ケミカルと東燃化学(株)が新たなフィルム技術を開発
- ハイブリッド自動車/電気自動車用バッテリーに貢献 -

当社の 100%子会社である東燃化学株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 D. L. シュスラー)のスペシャルティ事業に関連し、エクソンモービル ケミカル カンパニー(エクソン モービル コーポレーションの化学品部門)は、11 月 28 日(米国時間)、標題のニュースリリースを発表いたしました。つきましては、日本語抄訳をご紹介しますので添付をご参照下さい。

以上

添付: エクソンモービル ケミカル カンパニー プレスリリース

ニュースリリース(日本語抄訳)

エクソンモービル・ケミカルが新たなフィルム技術を開発 - ハイブリッド自動車/電気自動車用バッテリーに貢献 -

エクソンモービル・ケミカルならびに、エクソンモービルグループの一員である東燃ゼネラル石油株式会社の100%子会社の東燃化学は、この度、リチウムイオン電池向けの新しいフィルム技術を開発しました。同技術は、次世代ハイブリッド自動車および電気自動車(ハイブリッド/電気自動車)のエネルギー効率ならびに費用効率の向上に貢献することが期待されます。

これらの新しいフィルム技術により、リチウムイオン電池の出力、安全性ならびに信頼性が著しく高まり、より小型で、より軽量の電池の次世代の低排出ガス車への導入が促進されることが期待されます。

エクソンモービル ケミカル カンパニー上級副社長 ジム・ハリス(Jim Harris)は、「エクソンモービル・ケミカルは、ハイブリッド/電気自動車の要求を満たすことができるリチウムイオン電池用の新しいフィルム技術を開発しました。この技術は次世代自動車のエネルギー効率、コスト効率の向上ならびに軽量化に貢献することができます。現在、業界をリードするバッテリーメーカーと共同で、ハイブリッド/電気自動車へ応用できる領域の拡大に取り組んでいます。」と述べています。

セパレーターフィルムは電池システムの設計と不可分で、総合特性全体を大きく左右します。エクソンモービル・ケミカルの新技術基盤は、リチウムイオン電池のセパレーター分野における20年にも及ぶ実績の上に築き上げられたものであり、バッテリーメーカーの要望に柔軟に対応すべく、先進的なポリマー技術ならびにプロセス技術が応用されています。

エクソンモービル・ケミカルは、「第23回電気自動車シンポジウム(EVS23)」(2007年12月2日(日)~12月5日(水)/於 米国カリフォルニア州アナハイム)において、当技術を紹介する予定です。

以上

エクソンモービル・ケミカルについて

エクソンモービル・ケミカルグループ(www.exxonmobilchemical.com)は、技術、製品の品質、顧客サービスにおいて世界のリーダーとしての地位を築いており、石油化学製品の製造や販売を展開しています。

東燃化学 について

エクソンモービルグループの一員である東燃ゼネラル石油株式会社の 100%子会社の東燃化学は、リチウムイオン電池向けセパレーターフィルムにおいて世界第 2 位のメーカーです。詳しくは <http://www.tonengeneral.co.jp/apps/tonengeneral/index.html> をご覧ください。

注記:

エクソンモービル ケミカル カンパニー、エクソンモービル・ケミカル及びエクソンモービル・ケミカルグループとは、世界各国で化学品の製造や販売業を行うエクソン モービル コーポレーションの事業部または関連会社の全て、もしくはその一部を総称しています。

東燃化学とは、日本において化学品の製造や販売業を行う東燃ゼネラル石油株式会社の子会社である東燃化学株式会社またはその関連会社の全てもしくはその一部を意味します。